



地域とともにある学校づくり

# 品川コミュニティ・スクール通信 VOL.12

## 品川コミュニティ・スクールのかなめ

# 学校地域コーディネーター

令和 4年 4月 1日 発行

地域とともにある学校づくりを実現するための仕組み、品川コミュニティ・スクール。それを支えているのが、学校地域コーディネーターです。全校に配置されてから丸4年経ち、すでになくはならない存在となっています。今号では、改めて、学校地域コーディネーターについてスポットを当ててご紹介します。



### 学校地域コーディネーターって どんなことをしているの？

学校地域コーディネーターの役割は、「学校」と「地域」をつなぐことです。一口に「つなぐ」と言っても、担当する業務は多岐に渡っています。

学校によって特色はありますが、地域未来塾（放課後の学習支援）の運営、多様な活動に適したボランティアの募集や連絡・調整、外部講師の依頼、地域との連携活動、それらの活動の広報や事務的な仕事などを担っています。



### なぜコーディネーターが必要なの？

子どもたちが成長したとき、予測困難な社会の中でも、自分自身で未来を切り拓いていける力を養うためには、学校・家庭・地域が連携・協働し、社会総がかりで子どもたちを育てていくことが今、求められています。

学校地域コーディネーターは、区の会計年度任用職員として任用され、学校と地域のパイプ役として、教育活動の充実を図っています。



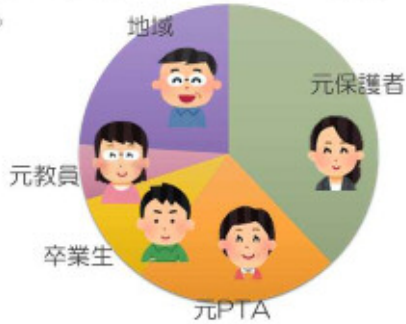
平成30年度からはアシスタントコーディネーターとともに、チームで業務に取り組める体制づくりを進めています。



## どのような人が任用されているの？

きっかけの多くは、保護者の時にPTA本部役員やボランティア活動など学校と関わりを持っていた方が、お子さんが卒業されても継続して関わっているケースが多いようです。

地域などで子どもに関わる活動をされていた方が任用されるケースも増えてきました。



学校地域コーディネーターの属性



## スキルアップへの取り組み

学校地域コーディネーターに求められるのは、まずは、様々な方々と信頼関係を築けるコミュニケーション能力です。

品川区教育委員会では、学校地域コーディネーター同士の「ヨコのつながり」を大切にしており、コロナ禍でもオンラインでの連絡会や他自治体の事例を知るステップアップ研修、テーマ別に課題を考える課題別研修などを通して情報を共有し、コーディネーターとしてのスキルアップに努めています。



コロナ禍はオンラインで行っています



## コロナ禍での取り組み紹介

感染拡大の合間を縫って、コーディネーターが関わった授業をご紹介します

### 3年生「お仕事体験」について



延山小学校  
阿部コーディネーター

コロナ禍前までは、3年生全員が同時に商店街（中延スキップロード他）の協力店舗でお仕事を体験してきました。昨年より、感染症対策のため、クラスごとでの体験に変更。事前に今までの協力店舗を回り、ご対応いただく日数が増えることをご説明し、今年も協力していただけるかを調査しました。

コロナだけでなく、閉店、人手不足、繁忙期や仕入れの為などの理由で断られた店舗もありましたが、新規に2店舗加わり店舗数がある程度確保できたので、今年度も実施することができました。



### 3年生「LIVEスーパー見学」について



鈴ヶ森小学校  
新谷コーディネーター

3年生の授業でスーパー見学をしたいとの相談を受けたので、近隣大型スーパーに相談したところ承諾を得ました。

事前に、普段目にしないスーパーの裏側などを撮影頂き授業で活用させていただいた上で、質疑応答はLIVEで接続し、質問にお答えいただきました。先生からも喜ばれ良い企画を実施できてよかったですと感じています。



そのほか、令和3年度の活動の様子は、成果事例集としてこちらでご紹介しています。→



品川コミュニティ・スクールについて、ホームページで詳細をご紹介します。



品川コミュニティ・スクール

検索



発行・問い合わせ

品川区教育委員会事務局  
指導課学校地域連携係

〒140-8715  
東京都品川区広町2-1-36  
TEL. 03-5742-6595